

<p>事業名</p>	<p>学校安全及び心のケアの充実（子ども安心プロジェクト）</p>	
<p>主管課及び関係課 （課長名）</p>	<p>（主管課）スポーツ・青少年局学校健康教育課（課長：山口 敏） （関係課）大臣官房文教施設企画部施設企画課（課長：舌津 一良）</p>	
<p>施策目標及び達成目標</p>	<p>施策目標 7 - 4 学校における健康教育の充実 達成目標 7 - 4 - 2 学校独自の危機管理マニュアルの作成など全ての学校における学校の安全管理に係る取組を進め、学校における重大な事故件数を減らす。</p>	
<p>事業の概要</p>	<p>学校における事件・事故が大きな問題となっている状況を踏まえ、平成14年度から実施している「子ども安心プロジェクト」による各種事業（防犯教室の推進、防犯教室実践事例集の作成（新規）、学校安全推進フォーラムの開催、地域ぐるみの学校安全推進モデル事業（拡充）、学校・地域保健連携推進事業、学校施設の安全対策推進事業（拡充）等）を拡充し、各学校の安全管理について効果的・継続的な取組を促進する。</p> <p>（新規） 学校安全体制整備推進事業 防犯の専門家や警察官OB等を地域学校安全指導員（スクールガード・リーダー）として委嘱し、学校安全ボランティアをスクールガードとして育成することにより、学校での安全体制の整備を推進する。</p> <p>防犯教室実践事例集の作成 各学校において実施される防犯教室や防犯訓練をより効果的に実施するための実践事例集を作成・配布する。 配布先：都道府県、市区町村、幼稚園、小・中・高等学校、特殊教育諸学校</p> <p>（拡充） 地域ぐるみの学校安全推進事業 地域との連携を重視した学校安全に関する実践的な取組を行う。 地域の特色を生かした安全管理の取組を一層推進するため、1推進地域当たりの事業費を増額するとともに、推進地域数についても拡充。</p> <p>学校施設の安全対策推進事業（文教施設企画部施設企画課） 学校施設の安全管理に関する継続的・計画的な対策推進のため、点検・改善システムを確立し、普及・啓発を図る。</p>	
<p>予算額及び事業開始年度</p>	<p>平成17年度概算要求額：1,827百万円（平成16年度予算額454百万円） 事業開始年度：平成14年度</p>	
<p>事業開始時において得ようとした効果</p>	<p>当該事業の実施により、各学校において、継続的な安全管理の取組を行うための体制の整備を促進する。</p>	
<p>得られた効果</p>	<p>平成15年度に実施した調査において、学校独自の「危機管理マニュアル」を作成済みの学校が約80%（平成15年度中に作成予定を含めると約97%）に達するなど、各学校の安全管理の取組が進んでいる。</p>	
<p>得ようとする効果</p>	<p>当該事業の実施により、各学校において、学校独自の危機管理マニュアルの作成を行うなど、より実効性の高い安全管理の取組が継続的に行われるよう、体制の整備を推進し、学校における重大な事故件数を減らす。</p> <p>なお、新規・拡充事業については、以下の効果を得ようとするものである。</p> <p>学校安全体制整備推進事業 専門家を活用し、学校安全のボランティアをスクールガードとして育成することにより、学校の安全体制整備を推進する。</p> <p>防犯教育実践事例集の作成 先導的な取組を集めた実践事例集を作成することにより、防犯教室等をより効果的に推進するとともに学校安全対策を普及する。</p> <p>地域ぐるみの学校安全推進事業 地域社会全体で、子どもの安全を守るために実践的な取組を実施し、その成果を全国的に普及することにより学校安全</p>	<p>達成年度</p> <p>平成20年度</p>

		<p>の一層の充実を図る。</p> <p>学校施設の安全対策推進事業 学校施設の安全管理に関する継続的・計画的な対策推進のため、点検・改善システムを確立し、普及・啓発を図ることにより、学校施設の安全管理を一層充実する。</p>
必要性		<p>近年、学校を発生場所とする刑法犯の件数が増加するとともに、犯罪も凶悪化するなど、児童生徒の安全確保については厳しい状況がある。</p> <p>文部科学省では、平成14年度より、安全で安心できる学校の確立を目指し、学校安全及び心のケアの充実に総合的に取り組む「子ども安心プロジェクト」を実施し、危機管理マニュアルの作成や、「学校施設整備指針」における防犯対策関係規定の充実、防犯教室の推進など様々な事業を推進してきたところである。</p> <p>これらを踏まえ、各学校では安全管理に関する取組が進められており、障害見舞金支給件数が前年度と比較して減少するなど一定の成果を上げているが、平成13年6月の附属池田小学校の事件後も、学校に不審者が侵入して子どもの安全を脅かす事件や、通学路で子どもに危害が加えられる事件が後を絶たないなどの課題が残されている。</p> <p>このため、各学校において、附属池田小学校の事件などの教訓を風化させることなく、より実効性の高い安全管理の取組が継続的に行われるよう、文部科学省として、学校安全に関する施策について、継続的に対応していく必要がある。</p>
効率性		<p>学校の安全管理に関する取組等については、学校や地域の状況等に応じて継続的な対応がなされるべきものである。</p> <p>文部科学省としては、当該事業における、防犯教室の推進や、地域との連携を重視した学校安全に関するモデル事業の展開等により、各学校の効果的・継続的な取組を促進することができ、効率的に実施できると判断。</p>
有効性	効果の把握の仕方 (検証の手順)	<p>学校マニュアルの作成状況、教職員や子どもの安全対応能力の向上を図るための取組状況、安全点検の実施状況等について、小・中・高・特殊教育諸学校・幼稚園(国公私立)等の学校における安全管理の取組を定期的に調査する。</p> <p>また、独立行政法人日本スポーツ振興センターが行う災害共済給付事業の死亡・障害見舞金の支給件数により、学校における重大な事故件数を把握する。</p>
	得ようとする効果の達成見込みの判断根拠(判断基準)	<p>平成14年度からの「子ども安心プロジェクト」の推進により、各学校の安全管理に関する取組が進んでいる状況を踏まえ、同プロジェクトの充実により、各学校におけるより実効性の高い取組が一層進むものと判断。</p>
公平性、優先性		<p>学校における安全管理の充実は、安全で安心な学校生活を送る上で必要不可欠であり、当該事業は優先的に行う必要がある。</p>
備考		<p>防犯教育指導者用参考資料の作成・配布(16年度限りの経費)</p>

学校安全及び心のケア ～子ども安心プロジェクト～ (平成17年度)

学校安全体制整備推進事業(新規)

警察官OB等を地域学校安全指導員として配置し、学校安全ボランティアをスクールガードとして育成することにより学校での安全体制の整備を図る

防犯教室の推進

防犯や応急処置等の訓練により、教職員や児童生徒の安全対応能力の向上を図る「防犯教室」の開催を推進

防犯教室実践事例集の作成(新規)

実効性のある防犯教室や防犯訓練等の推進のため、先導的な取組を集めた実践事例集を作成

地域ぐるみの学校安全推進事業(拡充)

地域との連携を重視した学校安全に関する推進地域を指定

学校安全推進フォーラムの開催

学校における防犯思想の普及啓発のためのフォーラムを開催

「学校施設の防犯対策について」の公表
(平成14年11月)

「学校への不審者侵入時の危機管理マニュアル」
の作成(平成14年12月)

非常災害時のPTSD等に関する教師用参考資料
の改訂(平成15年8月)

「学校安全緊急アピール」の公表
(平成16年1月20日)

これまでの
主な取組



学校安全に関するソフト面の安全対策

学校安全に関するハード面の安全対策

心のケアの充実

学校施設の安全対策推進事業(拡充)

学校施設の安全管理に関する継続的・計画的な対策推進のため、点検・改善システムを確立し、普及・啓発を図る。

学校・地域保健連携推進事業

学校と地域保健の連携により、児童生徒の心身の健康相談活動を充

全国の学校
より実効性の高い安全管理の取組の継続的な推進